

公立大学法人大阪府立大学 平成30年度 自己評価判断理由書

<資料1-2>

公立大学法人大阪

大項目 番号	小項目 番号	年度計画	業務実績	自己 評価	判断理由
1	8	<b>I 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するために取るべき措置</b>			
		1 大阪府立大学の教育研究に関する目標を達成するための措置			
		(3) 地域貢献等に関する目標を達成するための措置			
		①研究成果の発信と還元による産業活性化への貢献	(23)国内特許新規出願件数、共同出願比率が目標に達しなかったが、ロイヤリティ収入が増加するなど、年度計画に基づき取組みを実施。 (24)教員一人当たりの共同・受託研究数が目標を達成するなど、年度計画に基づき取組みを実施。	III	各計画を順調に実施していることから、年度計画を順調に実施と判断。
		②生涯教育の取組の強化	(25)公開講座の受講者ニーズの把握とその反映や、履修証明プログラムの検討を進めるなど、年度計画に基づき取組みを実施。 (26)I-siteなんばにおいて、新たな社会人向け公開講座を実施するなど、年度計画に基づき取組みを実施。	III	各計画を順調に実施していることから、年度計画を順調に実施と判断。
		③地方自治体など諸機関との連携の強化	(27)堺市産学公連携事業など、府内自治体との連携に取り組むなど、年度計画に基づき取組みを実施。 (28)諸機関と連携・地域課題への対応(28)	III	各計画を順調に実施していることから、年度計画を順調に実施と判断。
		(7) グローバル化に関する目標を達成するための措置			
		「教育研究活動のグローバル化(29)」 「自治体施策との連携によるグローバル化(30)」	(29)海外への学生派遣数は目標に達しなかったものの、外国人招へい教員数がの目標や、留学生交流学生サポーター制度の施行実施など、年度計画に基づき取組みを実施。 (30)受入学生数が目標を達成するなど、年度計画に基づき取組みを実施。	III	各計画を順調に実施していることから、年度計画を順調に実施と判断。
		2 大阪府立大学工業高等専門学校の教育研究に関する目標を達成するための措置			
		19	20	(5) 地域貢献等に関する目標を達成するための措置	
①研究成果の発信と社会への還元	(46)MOBIOでの技術相談件数が目標を達成するなど、年度計画に基づき取組みを実施。			III	各計画を順調に実施していることから、年度計画を順調に実施と判断。
		②公開講座や出前授業の推進	(47)公開講座数及び参加者数が目標を達成するなど、年度計画に基づき取組みを実施。 (48)「はりま産学交流会」において教員が講演を行うなど、年度計画に基づき取組みを実施。	III	各計画を順調に実施していることから、年度計画を順調に実施と判断。
2	21	<b>II 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置</b>			
		1 運営体制の改善に関する目標を達成するための措置			
		「理事長・学長のトップマネジメント(49)」 「業務(法人・大学・高専)整理と組織検討(50)」	(49)企画・戦略会議等を見直し、運営会議を設置するなど、年度計画に基づき取組みを実施。 (50)平成31年4月1日に新法人に移行するために、制度、システム等の一元化を準備し、年度計画に基づき取組みを実施。	III	各計画を順調に実施していることから、年度計画を順調に実施と判断。
	22	2 組織の活性化に関する目標を達成するための措置			
		「多様な人材の確保・活用・育成・登用(51)」 「教職員評価制度(52)」 「柔軟な組織編成・人員配置(53)」 「教職員の育成(54)」	(51)女性研究者支援事業を実施するなど、年度計画に基づき取組みを実施。 (52)大学において、教員業績評価制度を実施できなかった。 (53)女性研究者支援室の設置など、年度計画に基づき取組みを実施。 (54)FD・SD活動を活発に実施するなど、年度計画に基づき取組みを実施。	II	計画(52)について、年度計画を計画通り実施できていないと判断。

	23	3 施設設備の有効利用等に関する目標を達成するための措置			
		「施設・機器の有効利用等(55)」	(55)学内施設において利用料徴収を開始するなど、年度計画に基づき取組みを実施。	Ⅲ	各計画を順調に実施していることから、年度計画を順調に実施と判断。
3	24	Ⅲ 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置			
		1 自己収入の確保に関する目標を達成するための措置 2 経費の抑制に関する目標を達成するための措置 3 運営費交付金についての目標を達成するための措置			
		「自己収入の確保(56)」 「運営経費の抑制(57)」 「運営費の確保(58)」	(56)外部資金獲得額が目標を達成するなど、年度計画に基づき取組みを実施。 (57)年度計画に掲げる課題対応のための予算配分や省エネの取組みを行うなど、年度計画に基づき取組みを実施。 (58)運営交付金の効率的な執行に努め、事業評価を行うなど、年度計画に基づき取組みを実施。	Ⅲ	各計画を順調に実施していることから、年度計画を順調に実施と判断。
4	25	Ⅳ 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための措置			
		1 評価に関する目標を達成するための措置 2 情報の提供と戦略的広報に関する目標を達成するための措置			
		「点検評価と改善(大学)(59)」 「点検評価と改善(高専)(60)」 「情報の提供(61)」 「戦略的広報の実施(62)」 「支援者等への情報発信の充実(63)」	(59)データ集の市大との一部統一、自己点検・評価実施の準備など、年度計画に基づき取組みを実施。 (60)JABEEを受審し、中間審査不要で認定を可とされるなど、年度計画を上回って取組みを実施。 (61)シラバスの内容チェックを実施し、また入率率100%を引き続いて達成するなど、年度計画に基づき取組みを実施。 (62)認知度向上とブランド力の強化のため、大学・高専の双方で積極的に広報を実施するなど、年度計画に基づき取組みを実施。 (63)後援会、同窓会と連携して事業を実施するなど、年度計画に基づき取組みを実施。	Ⅳ	計画(60)について、当初の計画を上回って取組を実施していると判断。
5	26	wo 1 施設設備の整備に関する目標を達成するための措置 2 安全管理等に関する目標を達成するための措置 3 コンプライアンス・リスクマネジメントの強化に関する目標を達成するための措置 4 人権に関する目標を達成するための措置			
		「施設整備プランの推進(64)」 「計画的な機器等の更新(65)」 「安全衛生・防災(66)」 「コンプライアンス・リスクマネジメントの強化(67)」 「研究公正の推進・研究費不正使用の防止(68)」 「情報セキュリティ(69)」 「人権尊重(70)」	(64)施設整備・保全プランに基づき、耐震化、改修工事を実施、また高専において、計画以上に施設設備の改修を進めるなど、年度計画を上回って取組みを実施。 (65)高専において工作機器購入や大学設備の共同利用を実施するなど、年度計画に基づき取組みを実施。 (66)全学一斉防災避難訓練を実施するなど、年度計画に基づき取組みを実施。 (67)海外危機マニュアル案を年度内に作成できなかった、 (68)研究公正委員会の開催や不正防止モニタリング監査の実施など、年度計画に基づき取組みを実施。 (69)情報セキュリティについて、研修、監査を実施するなど、年度計画に基づき取組みを実施。 (70)人権に関するシンポジウム、マネジメント研修を実施するなど、年度計画に基づき取組みを実施。	Ⅳ	計画(64)について、当初の計画を上回って取組を実施していると判断。
	27	Ⅵ 大阪市立大学との統合等に関する目標を達成するために取るべき措置			
		1 大阪市立大学との統合による新大学実現に向けた取組の推進 2 大阪市立大学との連携の推進			
		「新大学に向けた検討・手続の推進(71)」 「現キャンパスの課題・方向性や新大学のキャンパスの検討(72)」 「大阪市立大学との連携・共同化(73)」	(71)平成31年4月1日に新法人に移行するために、制度、システム等の一元化を準備し、年度計画に基づき取組みを実施。 (72)新大学検討部会において、教育研究組織、キャンパスプランの検討を実施するなど、年度計画に基づき取組みを実施。 (73)連携・共同化について、可能なものから先行して実施するなど、年度計画に基づき取組みを実施。	Ⅲ	各計画を順調に実施していることから、年度計画を順調に実施と判断。